

# 自然史 かわらばん No. 13

2018. 6

次回展示  
予告

第25回企画展

## 「花のヒミツ」

会場 県立自然史資料館 2F 企画展示室

会期中  
無休

入場  
無料

会期 平成30年7月14日（土）～12月2日（日）

展示  
担当

中野真理子（副館長・植物領域学芸員）

関連  
行事

講演会  
「虫を操る花のしくみ」

日時：11月17日（土）14:00～16:00 会場：自然史資料館内  
対象：どなたでも 定員：100名（申込不要）  
講師：丑丸敦史（神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授）



夜にガの仲間を誘うキカラスウリ



コチャルメルソウのめだたない花びらの役割は？

画像  
提供

北村俊平（石川県立大学）

野山や公園では、季節ごとに色々な花がたくさん咲きます。美しい花は人を引きつけますが、私たち人間のために咲いているわけではありません。植物はどのようにして花を咲かせるのでしょうか？ 大昔には、花を咲かせ、種子をつくる植物（種子植物）はありませんでした。花びらの無い花を咲かせる裸子植物（イチヨウやスギの仲間）が3億年前に現れ、その後に花びらのある花を咲かせる被子植物が現れました。動けない植物は、種子をつくることで、乾燥や寒さにたえ、種子をばらまき、子孫を残す方法を手に入れたのです。

種子をつくるためには、めしべに花粉を運ばなければいけません。スギのように地味でめだたない花では、風の力で花粉を飛ばし、種子をみ

のらせます。チューリップなどの色あざやかでめだつ花では、花粉を運ぶ虫や鳥が集まってきます。蜜などの食べものが花にはあるからです。はなやかな花びらには、そこに食べものがあることを動物たちにアピールする役割があるのです。植物は、花粉をうまく運ぶために、花の形や色、咲き方などを進化させてきました。例えば、効率よく花粉を運んでくれる動物だけが集まるように、花の形をお目当ての動物の好みに合わせたか、夜に活動するガの仲間を誘うために、夕方に花を咲かせ、夜だけ強い匂いを出したりします。

この企画展では、花の多様性をさまざまな角度から紹介し、植物やその他の生きものの繁栄にかかわる、秘められた花の謎に迫ります。

## 「里山の動物たち—足跡探検—」

嶋田敬介（学芸員・動物領域）

今年の北陸の冬は記録的な大雪で、石川県でもかなりの積雪がありました。雪が降り積もる寒い冬、私たち人間は外出するのが億劫になりがちですが、里山に暮らす動物たちの多くは元気に活動しています。当館では、今年の2月、野田山(金沢市)で、雪の上に残された動物たちの足跡観察会を行いました。観察会では、ウサギやタヌキ、キツネやイノシシ・カモシカなど、様々な哺乳類の足跡を見ることができました。足跡は、動物の種類によって異なり、その形やつき方にはそれぞれの行動や生態が反映されています。例えば、跳ねて移動するウサギの場合、縦に並んだ二つの丸い跡と横に並んだ二つの細長い跡が残ります。足跡の近くに、時々丸い糞や赤い尿の痕跡があるのも特徴です。参加者は、身近な場所にも多くの野生動物が生息しており、冬でも活動していることに驚いていました。また、「かんじき

体験」も行いました。かんじきを履くことで、深い雪の上でも沈まずに歩くことができます。参加者は、初めてかんじき(白山式または立山式)を体験し、楽しそうに雪の上を歩いていました。

当館では、他にも様々な講座・イベントを実施していますので、是非ご参加ください。



## モンタナ州で実施した野外化石調査

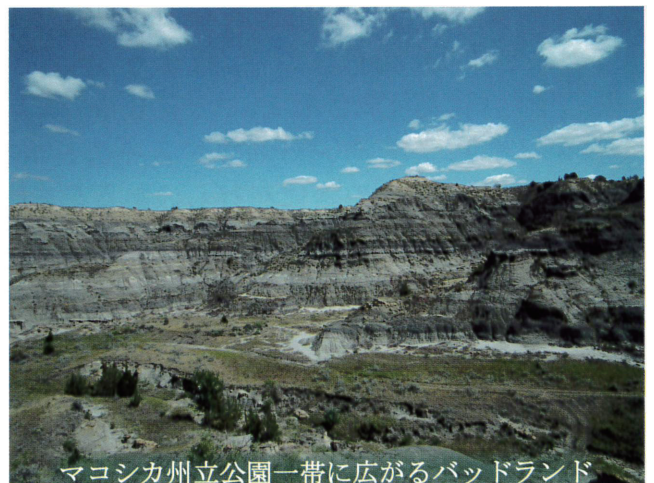
桂嘉志浩（学芸員・地学領域）

私はアメリカ合衆国のモンタナ州立大学大学院に1990年から1997年まで留学しました。それ以来、同校付属ロッキー博物館を拠点として、北米大陸の中生代白亜紀～新生代古第三紀に形成された陸成層から産出する脊椎動物化石の研究を続けています。

2017年7月下旬～8月下旬には、モンタナ州東部のマコシカ州立公園一帯で、同館の調査団に参加して野外調査を実施しました。その結果、恐竜などの化石を発見・採集しました。また、これまでの調査研究の様子については、9月に「現代の「恐竜発掘調査」その舞台裏とは？—現役調査員が明かす真実—」として、文春オンライン(<http://bunshun.jp/articles/-/4068>)に掲載されました。

10月下旬には、同館よりパット・リージ古生物学部長とキャリー・アンセル技官が当館にお越しに

なり、交流を深めました。今後も同館と学術協力し、研究調査活動を一緒に進めていくことになりました。調査の成果は研究として発表するだけでなく、催事や講演会などで子ども達に野外活動の楽しさや厳しさを伝えるために活用していきたいと思います。



マコシカ州立公園一帯に広がるバッドランド

講座  
イベント  
情報

自然史  
講演会

# 「虫けら」なんてなんで守るの？ —アカトンボとイカリモンハンミョウの場合—

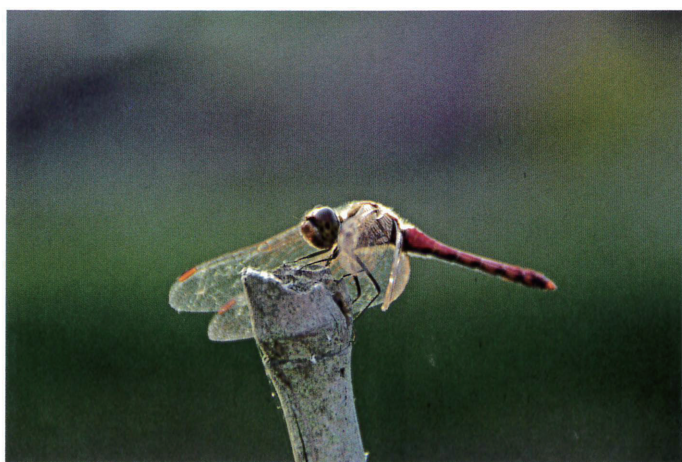
講師 上田哲行（石川県立大学名誉教授・プロジェクト・アイ代表）

日時 9月9日（日）14:00～16:00

会場 石川県立自然史資料館内

対象 どなたでも 定員 100名 申込 不要

**内容** 昔はどこにでもたくさんいたアカトンボ。最近はめっきり少なくなりました。イカリモンハンミョウは、いちど絶滅したと思われていましたが、「再発見」され、いまは能登の砂浜のごく限られた場所に少数が生きのびています。上田先生は、長年のアカトンボ研究で有名です。最近ではイカリモンハンミョウの調査と保全活動にも取り組んでおられます。誰もが知っているアカトンボとほとんどの人が知らないイカリモンハンミョウ。対照的な2種を例に、先生が「虫や自然を守る意味」を問いかけます。皆さんも一緒に考えてみませんか。



7月～8月  
催事

申込  
方法

電話（076-229-3450）で受け付けます。  
詳細は当館HP (<http://www.n-muse-ishikawa.or.jp/>) でご確認ください。

日時	イベント名	対象	定員	申込期間	内容	
7月	14日（土） 19:30～21:00	夏の夜の昆虫採集会 —ライトトラップをしかけよう—	小3～中3	16名	6/16～	ライトトラップを仕掛けて昆虫を採集します。
	28日（土） 10:00～15:00	昆虫標本作製講座 —チョウ・トンボ編—	小3～中3	16名	6/30～	野外で昆虫を採集し、標本を作ります。
	29日（日） 10:00～13:00	プリティクマムシ、ミイラ復活大実験	小4～高3	10名	7/1～	クマムシを見つけて、ミイラから生き返らせます。
	4日（土） 10:00～12:00	花の色の秘密をしらべよう	小3～小6	16名	7/7～	植物の色水の変化を調べます。
	5日（日） 13:30～15:00	ペットボトルで顕微鏡ができちゃうの？	小1～小6	30名	7/8～	ペットボトルで顕微鏡を作り、細胞を観察します。
8月	11日（土・祝） 10:00～13:00	イカを解剖、スミ絵に挑戦	小4～高3	16名	7/14～	イカの体を調べ、イカスミで水墨画を描きます。
	18日（土） 13:30～15:30	昆虫標本作製講座 —甲虫編—	小3～中3	16名	7/21～	クワガタなどの簡易標本を作ります。
	19日（日） 13:30～16:00	押し葉で植物ずかんをつくろう	小4～高3	20名	7/22～	自分で集めた植物の図鑑を作ります。
	26日（日） 10:00～11:30	恐竜博士養成入門講座 —実物に触って学ぼう—	小1～小3	16名	7/29～	講義と実物化石で、恐竜を学びます。
	26日（日） 14:00～15:30	恐竜博士養成初級講座 —実物に触って学ぼう—	小4～中3	16名	7/29～	講義と実物化石で、恐竜を学びます。

## 石川県庁と連携した出張展示

## 『MISIAの里山ミュージアム2018』

日時：6月9日（土）10:00～16:00

会場：石川県森林公園（津幡町）



参加者と一緒に虹色万華鏡作り

森林公園『MISIAの森』で行われる「自然を感じて楽しむ」アート&音楽イベントです。

自然史資料館は初参加し、レインフォメーションセンター内で出張展示しました。これまで10年間に開催した企画展・特別展のポスター(25回分)とパンフレット類によって活動を紹介しました。

## 『いしかわの里山里海展2018』

日時：8月25日（土）～26日（日）

会場：石川県産業展示館（金沢市）



昨年の様子

自然史資料館は、昨年（2017年）初参加し、刺されると危険な『ヒアリ』を特別展示し、話題となりました。ヒアリは昨年5月に初めて国内で確認された特定外来生物です。今年もヒアリ、アカカミアリなど危険なアリ類や有害な外来種について展示します。

## NPO法人石川県自然史センターと連携した活動

バスをチャーターして北陸の各地をめぐり、自然観察と施設見学をするイベントです。（実費負担）  
申込は各会の実施日の約1か月から、電話で受付ます。

詳細は石川県自然史センター【TEL：076-229-3403】へお問い合わせください。

## 能登巡検コース（珠洲市と七尾市）

10/14（日）7:45～17:00

集合場所：JR金沢駅西口

イソライト珪藻土記念館・スギヨ工場・七尾城跡等を巡り、珪藻土や練り物の製造について学び、自然と人々の営みを考えます。

## 手取川中～上流域巡検コース（白山市）

11/18（日）7:45～17:00

集合場所：JR金沢駅西口

百合谷のブナ林・牛首岫白山工房・吉野の御仏供杉・鳥越城跡などを巡り、秋の自然景観を訪ね、地域の中世の歴史を学びます。

## 利用案内

■ 開館時間：午前9時～午後5時  
（入館は4時30分まで）

■ 入館料：無料

■ 休館日：12月29日～1月3日

■ 駐車場：完備  
（大型バス駐車可）

## 交通案内

## 周辺地図



## 周辺地図（拡大）



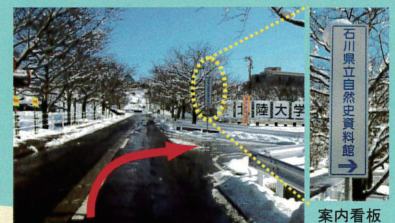
【バスをご利用の場合】  
金沢駅東口バスターミナル

■ 6番乗り場

『95 北陸大学太陽が丘ゆき』または『95 北陸大学薬学部ゆき』  
→【北陸大学太陽が丘下車】→徒歩約10分

■ 7番乗り場

『12 湯涌温泉ゆき』  
『12 北陸大学薬学部ゆき』  
『12 北陸大学太陽が丘ゆき』 →【銚子口下車】→徒歩約10分



案内看板



石川県立自然史資料館